

【1号通信】

日本遊戯療法学会 第20回大会案内

メインテーマ：「遊戯療法を奏でる～精神と身体・リズム・メロディー～」

2014年7月19日(土)～7月20日(日)

会場：星陵会館 (東京都千代田区永田町 2-16-2)

都市センターホテル (東京都千代田区平河町 2-4-1)

ご挨拶

日本遊戯療法学会第20回大会を、「遊戯療法を奏でる～精神と身体・リズム・メロディー～」をメインテーマに7月19日、20日の2日間に亘って開催いたします。本大会は日本遊戯療法研究会第1回大会から数えて第20回目を迎えることとなります。日本遊戯療法研究会が第7回大会において改組され、日本遊戯療法学会として回を重ねてきたことによりますが、この記念すべき大会の準備を進めさせていただき、ようやく皆様をお迎えする大会の内容ができあがりました。ここにご案内申し上げます。

基調講演にはフルーティストの宮本明恭先生(NHK交響楽団々友、国立音楽大学名誉教授)をお招きいたしました。フルートをお持ちくださるそうで「フルートとともに」をご講演テーマにお話しいたします。子どもたちが自分を発揮してゆくとき必ずといってよいほど、精神と身体の両側面が活躍します。今大会では遊戯療法において論じておきたい精神と身体の構造論的議論も音楽を通してできるかもしれないと思立ちました。それは、宮本先生のフルートのレッスンにアナリーゼを聞くのが楽しみで自分の時間よりずっと前にお邪魔しては他の方のレッスンを聞いていたかつての私の体験とつながるのかもしれませんが。瞬間の連続ともなる遊戯療法の精神と身体を語ろうとした時、五線譜上に並ぶ音符のリズムやメロディーがイメージされたのです。

2日目には「遊戯療法家を育てるために」をテーマに顧問の東山紘久先生と村瀬嘉代子先生の対談が企画されています。司会は山中康裕会長にお願いすることができました。

今大会のもうひとつのシンポジウム「子ども達は今、3.11から3年が過ぎて」が計画されています。今泉岳雄先生、田村良江先生、宮前理先生、に話題提供いただき、阪神淡路大震災の際に支援に行かれた宇田川一夫先生、阪神淡路の際に被災された馬殿禮子先生に指定討論いただき、現況から今後に向けて支援の方向性を探ることも討論の中でできればと思います。フロアーからも活発なご議論を期待いたします。

研究発表につきましては発表数が多くとも十分お受けできるように部屋を確保いたしました。2日目の最後の発表時間が少し遅くなりますが、なにとぞご協力いただけますよう、よろしく願いいたします。

ワークショップはご案内のように12のコースです。どのコースも魅力的で迷われるかもしれませんが、ご希望に沿うようにご希望順位をつけてお申込みくださいませ。

準備委員長の個人的な体験の連想を大会のメインテーマにさせていただきましたが、河合隼雄先生もフルートと共におられました。「はー、はー」と笑っておられるかもしれません。

夏のまっさかりの東京のど真ん中、アスファルトも溶けるような熱気ある大会となりますように準備委員一同皆様をお待ち申し上げます。

日本遊戯療法学会第20回大会準備委員長 安島智子

大会内容

●第1日目 2014年7月19日(土)

- ・ワークショップ 9:30~12:00 (詳細は、同封のワークショップ案内をご覧ください)

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| A 安島 智子 (このはな児童学研究所) | G 田畑 洋子 (人間環境大学) |
| B 伊藤 研一 (学習院大学) | H 難波 愛 (神戸学院大学) |
| C 伊藤 良子 (学習院大学大学院臨床心理学専攻) | I 西村 喜文 (西九州大学) |
| D 倉光 修 (東京大学学生相談所) | J 平松 清志 (ノートルダム清心女子大学) |
| E 小林 真理子 (放送大学大学院臨床心理学プログラム) | K 森谷 寛之 (京都文教大学) |
| F 滝口 俊子 (放送大学名誉教授) | L 山中 康裕 (京都ヘルメス研究所・京都大学名誉教授) |

- ・公開基調講演 13:30~15:30

テーマ 「フルーツとともに」

講師 宮本 明恭 (NHK交響楽団々友・国立音楽大学名誉教授)

- ・公開シンポジウム1 15:45~18:15

テーマ 「遊戯療法を奏でる~精神と身体・リズム・メロディー~」

シンポジスト 安島 智子 (このはな児童学研究所)

妙木 浩之 (東京国際大学)

森岡 正芳 (神戸大学大学院 人間発達環境学研究科)

指定討論 滝口 俊子 (放送大学名誉教授)

横山 知行 (新潟大学 人文社会・教育科学系)

司 会 岡 昌之 (首都大学東京)

- ・交流の広場 (懇親会) 18:30~20:30 星陵会館シーボニア (星陵会館内)

●第2日目 2014年7月20日(日)

- ・研究発表1 9:30~11:30

- ・総会 13:00~14:00

- ・対談 14:15~15:45

テーマ 「遊戯療法家を育てるために」

対談者 東山 紘久 (帝塚山学院大学専門職大学院)

村瀬 嘉代子 (北翔大学大学院)

司 会 山中 康裕 (京都ヘルメス研究所・京都大学名誉教授)

- ・研究発表2 16:00~18:00

- ・ 公開シンポジウム2 16:00～18:00
 テーマ 「子ども達は今、3.11から3年が過ぎて」
 シンポジスト 今泉 岳雄（東北文教大学）
 田村 良江（福島市立瀬上小学校）
 宮前 理（宮城教育大学）
 指定討論 宇田川 一夫（東北福祉大学）
 馬殿 禮子（関西国際大学名誉教授）
 司 会 安島 智子（このはな児童学研究所）

- ・ 研究発表3 18:15～20:15

*****本大会の「基調講演」と「シンポジウム」（1日目・2日目）は一般公開されます。

お近くで興味のある方にも是非ご案内ください*****

大会日程

■第1日目 7月19日(土)

9:30～ 12:00	12:00～ 13:30	13:30～ 15:30	15:45～ 18:15	18:30～ 20:30
ワークショップ	昼食(理事会)	公開基調講演	公開シンポジウム1	交流の広場

■第2日目 7月20日(日)

9:30～ 11:30	11:30～ 13:00	13:00～ 14:00	14:15～ 15:45	16:00～ 18:00	18:15～ 20:15
研究発表1	昼食(座長打合せ)	総会	対談	研究発表2 公開シンポジウム2	研究発表3

◇参加資格◇

第1日目のワークショップ、基調講演、シンポジウム、交流の広場、第2日目のシンポジウムは学会員でなくても参加できますが、研究発表と総会、対談は学会員のみの参加となります。

◇大会・交流の広場の参加予約申し込み◇

1. 大会参加について

- ①「大会参加・交流の広場申込書／領収書・大会予約参加証（往復はがき(白))」に必要事項を記入し、2014年6月6日(金)までに大会準備委員会事務局へ送付してください。
- ②同封の郵便振込用紙の通信欄に、該当する参加項目の合計金額を記入した上で、参加費を2014年6月6日(金)までにお振り込み下さい（期日までにお支払いがない場合は、大会当日、受付にて当日参加費をいただくことになります）。
- ③大会参加予約をされた方には抄録集とともに名札を送付いたしますので、名札ホルダーと一緒に当日必ずお持ちください。

2. 公開講演・シンポジウム参加について

- ①「大会参加・交流の広場申込書／領収書・大会予約参加証（往復はがき(白))」に必要事項を記入し、2014年6月6日(金)までに大会準備委員会事務局へ送付してください。
- ②同封の郵便振込用紙の通信欄に、該当する参加項目の合計金額を記入した上で、参加費を2014年6月6日(金)までにお振り込み下さい（期日までにお支払いがない場合は、大会当日、受付にて当日参加費をいただくことになります）。
- ③公開講演・シンポジウムのみ参加予約をされた方は、返信はがきが参加証となりますので、返信はがきを当日必ずお持ちください。

3. ワークショップ参加について

ワークショップの参加申し込みについては、同封のワークショップ案内(緑)をご覧ください。

4. ご注意

- ①はがきの往信、返信面に切手を貼付してください。
- ②振込まれた諸費用は事情の如何にかかわらず返金できませんので、ご了承ください。

◇研究発表申し込み◇

本大会の研究発表は1発表あたり討論を含めて2時間です。研究発表を希望される方は、以下の要項でお申し込みください。

「研究発表申込書（A4サイズ用紙(白))」に発表演題、発表要旨、希望の座長（コメンテーター）2名を記入し2014年4月11日(金)までに、大会準備委員会事務局に郵送またはFAXで送付してください。発表申し込みをされた方には、折り返し、抄録集掲載の執筆要項を送付いたします。発表希望者多数の場合は先着順となりますのでご了承ください。

執筆要項に従い、2014年5月9日(金)までに返送して下さい（**必着**）。

演題発表の採否、座長は、日本遊戯療法学会第20回大会準備委員会によって決定されます。座長に

ついてはご希望に添えない場合もございますのであらかじめご了承ください。

発表に使用できる機器はノートパソコン、プロジェクターのみです。研究発表申込書に機器の使用希望をご記入ください。貸出のノートパソコンをお使いになれる場合は使用料 2,000 円をご負担いただきます。またプロジェクターをご使用になれる場合、使用料 5,000 円をご負担いただきます。(当日、係にお支払いください)

*****研究発表の発表資格として以下の要件が必要です*****

- ① 演者、連名演者は、日本遊戯療法学会の会員であること。
- ② 演者、連名演者は、2014 年度の年会費を完納していること。

◇参加費◇

- * 大会予約参加費 会 員 7,000 円 (当日 8,000 円)
学生 (学部生) 会員 3,500 円 (当日 4,000 円)

※会員は上記料金で公開講演とシンポジウムにも参加できます。

※ワークショップ参加には別途受講料が必要ですのでご注意ください。

- * ワークショップ受講料 別紙ワークショップ案内をご覧ください。

※非会員の方も参加できます。

- * 公開講演・シンポジウムのみ参加 非会員のみ 1 日目 3,000 円 (当日 4,000 円)
2 日目 1,000 円 (当日 2,000 円)

- * 交流の広場予約参加費 会員・非会員 6,000 円 (当日 7,000 円)
学生・院生 4,000 円 (当日 5,000 円)

◇参加費等納入先(郵便振替)◇

振込先口座番号 : 00110-7-695496

加入者名 : 日本遊戯療法学会第20回大会

※この口座を使っての年会費納入はできません。年会費の納入は別の指定口座(このご案内の最後に記載があります)をお願いいたします。

※振込まれた諸費は、事情の如何にかかわらず返金いたしませんので、ご了承ください。

◇研修証明書の発行について◇

ワークショップのみのご参加の場合、規定により臨床心理士資格認定協会のポイント取得対象とはなりません。大会参加をしていただいた場合はポイント申請をいたしますが、研究発表は会員のみが参加可となっておりますので、事前にご入会の手続きを済ませていただく必要があります。大会参加

の場合、大会準備委員会から直接資格認定協会に名簿を送りますので、研修証明書は発行いたしません。念のため、参加証をお手元に保管してください。

また、これとは別に研修証明が必要となる場合は、事前に大会準備委員会までご連絡ください。

◇宿泊・昼食について◇

会場周辺には多くの飲食店があります。大会当日は休日のため、混雑も予想されますが、周辺の飲食店をご利用ください。

◇今後の通信予定◇

2014年6月下旬に、大会プログラム・抄録集をお送りする予定です。

◇日本遊戯療法学会第20回大会に関する問い合わせ・連絡先◇

大会案内が必要な方にはお送りいたしますので、FAXかE-mailでご連絡ください。

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-26-2-403

このはな児童学研究所内

日本遊戯療法学会第20回大会準備委員会事務局

FAX : 03-3639-2968 / E-mail : japt20th@gmail.com

日本遊戯療法学会事務局より お願いとご入会のおすすめ

学会の活動は、皆様の会費で成り立っています。2013年度の年会費（6000円）を未納の方は、郵便局備え付けの振込用紙に「2013年度年会費」と明記の上、郵便振込（振込口座番号 00180-2-750224 加入者名：日本遊戯療法学会）にてお支払い下さい。

大会参加費振り込み用紙での年会費納入はできませんので、ご注意ください。

また、日本遊戯療法学会に入会を希望される方は、下記までお知らせ下さい。入会申込書をお送りいたします。なお住所変更等は速やかに事務局までご一報下さい。

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-26-2-403 このはな児童学研究所内

日本遊戯療法学会事務局

FAX 03-3639-2968 / E-mail yugi@mbm.nifty.com

日本遊戯療法学会ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/japt/>